

空間 のもつ力

第6回ホームホスピス全国合同研修会
in 東京



暮らしの中で“死にゆく”こと

2017年12月2日(土)～12月3日(日)

■場所 明治大学中野キャンパス

東京都中野区中野 4-21-1

東京メトロ東西線、中野駅下車。JR 中央線中野駅、北口より徒歩約8分

■参加費 両日参加 5,000 円
(1日参加 3,000 円)

2日(土) <13:00～ 受付開始> 明治大学中野キャンパス 高層棟3F 311教室 (定員200名)

<基調講演-1> いのちつづ「みとりびと」シリーズ みんなでつくる「とも暮らし」

13:30～15:00 國森 康弘 (写真家・ジャーナリスト)

<報告-1> ホームホスピスからの報告「多様な地域のとも暮らし」

15:15～17:00 ① 離島のホームホスピス「オハナ」、これから 前田真由美 (NPO 法人オハナ代表)

② 東京でホームホスピスを開く 富田真紀子 (NPO 法人なかの里を紡ぐ会代表)

③ それぞれのホームホスピスのかたち 松本 京子 (NPO 法人神戸なごみの家代表)

18:00～ 懇親会 (会費 5,500 円) 場所: 中野サンプラザ

3日(日) <9:00～ 受付開始> 明治大学中野キャンパス 高層棟5F 551ホール (定員400名)

<教育講演-1> 9:30～10:30 患者の意思決定を支援する 稲葉 一人 (中京大学法科大学院教授)

<教育講演-2> 10:40～11:40 在宅看取りができる地域づくり 太田 秀樹 (医療法人アスミス理事長)

<基調講演-2> 12:45～13:45 空間のもつ力・・・マギーズという環境
秋山 正子 (マギーズ東京センター長、ケアーズ白十字訪問看護ステーション)

<報告-2> 13:45～14:15 中間報告 ホームホスピスの環境調査
山口健太郎 (近畿大学建築学部教授)

シンポジウム 14:30～16:00 「住まい」という環境
伊藤 明子 (国土交通省住宅局長) 園田真理子 (明治大学理工学部教授)

<コメンテーター> 秋山 正子 / 山口健太郎

<コーディネーター> 市原 美穂 (協会理事長)

2017年

主催 一般社団法人 全国ホームホスピス協会

後援 (予定) 厚生労働省 / 国土交通省 / 東京都 / 中野区 / 日本看護協会

(一財) 高齢者住宅財団 / 日本死の臨床研究会 / 日本ホスピス・在宅ケア研究会

運営事務局 一般社団法人 全国ホームホスピス協会

お問合せ TEL 0985-65-8087 / FAX 0985-53-6054 <http://www.homehospice-jp.org>



講師、パネリスト紹介



Kunimori Yasuhiro

國森 康弘 写真家・ジャーナリスト

京都大経済学研究科修士号、英カーディフ大ジャーナリズム学部修士号。新聞記者を経てイラク戦争を機に独立後、紛争地や経済困窮地域を回り、国内では、戦争体験者や野宿労働者、東日本大震災被災者たちを取材。命の有限性と継承性がテーマ。近年では滋賀県東近江市永源寺地域をはじめ滋賀や東北被災地、東京などで看取り、在宅医療、地域包括ケアの撮影に力を入れる。写真絵本シリーズ『いのちづく「みとりびと」』（農文協、現12巻）の第3集は、東京のホームホスピス「樺」が舞台。他著書多数。

稲葉 一人 中京大学法科大学院教授

1983年、東京地裁判事補、大阪地裁判事等、1992年、法務省訟務局検事等勤め、1996-1997年、米国連邦最高裁判所連邦司法センター客員研究員、2000-2005年、京都大学大学院医学研究科修士・博士課程後期を経て現在、中京大学法科大学院教授、熊本大学大学院客員教授、久留米大学医学部客員教授、三重大学医学部客員教授を務める。医療関係委員：厚生労働省医政局、健康局、老健局等の委員、その他、国、地方公共団体、大学、病院の倫理委員長、監査委員長等幅広く活動する。



Inaba Kazuto



Ota Hideki

太田 秀樹 医療法人アスム理事長

医師、介護支援専門員。1953年生まれ。日本大学医学部、自治医科大学大学院卒。1978年日本大学付属板橋病院麻酔科にて研修医。麻酔科標榜医取得後、自治医科大学整形外科、入局。同大整形外科医局長、講師を経て、1994年在宅医療を進める。医療法人おやま城北クリニック理事長。在宅ケアを支える診療所全国ネットワーク全国世話人。在宅ケアネットワーク・栃木代表世話人を務め在宅医療の普及に努力している。医学博士、日本整形外科学会認定医、日本医師会認定健康スポーツ医。

山口健太郎 近畿大学建築学部教授

京都大学大学院博士後期課程修了。株メトス、国立保健医療科学院協力研究員、近畿大学理工学部講師を経て現在、近畿大学建築学部教授。2010年日本建築学会奨励賞受賞。博士(工学)。一級建築士。



Yamaguchi Kentarō



Akiyama Masako

秋山 正子 マギーズ東京センター長、ケアーズ白十字訪問看護ステーション

1973年聖路加看護大卒業後、産婦人科病棟での臨床経験を経て看護教育に携わる。

2001年、有限会社ケアーズを設立、新宿区を中心に訪問看護・居宅介護支援・訪問介護事業を展開する。2011年、新宿区戸山ハイツでマギーズセンターをモデルとした「暮らしの保健室」を開設。2016年、東京都江東区豊洲に「マギーズ東京」を開設、センター長を務める。NPO法人白十字在宅ボランティアの会理事長。東京女子医科大学非常勤講師。厚生労働省がん対策推進協議会委員など。著書に『在宅ケアの不思議な力』『在宅ケアのつながる力』『つながる・ささえる・つくりだす 在宅現場の地域包括ケア』（すべて医学書院）他。

伊藤 明子 国土交通省住宅局長

1984年、建設省入省。1991年、宝塚市役所出向。1994年、建設省 都市局まちづくり事業推進室。2001年、内閣官房都市再生本部事務局。2010年、国土交通省 住宅局住宅総合整備課課長、2014年、国土交通省住宅局住宅生産課課長を経て、2017年、国土交通省の住宅局長に女性で初めて就任。



Itō Akiko

FAX 0985-53-6054

参加申込書（申込み 10月10日ー11月20日）

参加予定に○してください。

両日参加

2日のみ参加

3日のみ参加

お名前	住所
	(○をつけてください) 自宅 / 勤務先
所属	電話（携帯）/ FAX
懇親会（5,500円）	3日昼 お弁当（1,000円。○をつけてください）
参加 / 不参加	要 / 不要

上記にご記入の上、FAXして下さい。e-mailでお申込みの方は、上記の要項をご記入の上、お申し込みください。事務局より振り込み口座などお知らせします。

なお、各会場とも定員があります。勝手ながら、参加希望者数が定員になり次第、締め切らせていただきます。

〈お問合せ先〉

一般社団法人全国ホームホスピス協会事務局 〒880-0913 宮崎市恒久 2-19-6

TEL 0985-65-8087（月～金/10:00-17:00） FAX 0985-53-6054 e-mail info@homeospice-jp.org